

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆23年度の実質成長率は1.2%、24年度は0.3% NEEDS予測

・日本経済新聞社の経済・金融データサービス「NEEDS」の日本経済モデルに2024年4月23日までに公表された各種経済指標の情報を織り込んだ予測によると、23年度の実質成長率は1.2%、24年度は0.3%の見通し。1～3月期の実質GDPは前期比0.5%減と、2四半期ぶりのマイナス成長に。民間最終消費支出(個人消費)や設備投資などの民需も振るわなかった。

◆企業向けサービス価格、3月2.3%上昇 人件費転嫁続く

・日銀が24日発表した3月の企業向けサービス価格指数(2015年平均=100)は111.0と、前年同月比2.3%上昇。伸び率は2月(2.2%上昇)から0.1ポイント拡大し、8カ月連続の2%台となった。土木建築や機械修理などで人件費の上昇分を価格に反映する動きが続いている。企業収益が堅調で広告の増加も全体の押し上げに寄与した。

◆公園で「市場」開きやすく 住宅団地、「買い物難民」対応

・内閣府は住宅団地内にある都市公園で、日用品を扱うマルシェ(市場)などのイベントを開きやすくする。公園内に露店を出すために必要な「占用許可」の手続きを緩和。店舗が撤退して「買い物難民」が発生する団地もあることを踏まえ、住民の買い物機会の確保や地域の活性化につなげる。改正地域再生法に特例措置を盛り込んだ。年内に施行される。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆LIXILが通期予想を下方修正 140億円の赤字に転落

・LIXILは2024年3月期通期の連結業績予想の下方修正を発表。非継続事業を含む最終損益が140億円の赤字となる見込みで、110億円の黒字予想から一転して赤字。前期は159億円の黒字だった。最終損益が赤字となるのは2019年3月期以来。1月31日に発表した予想に対して、売上収益を470億円減の1兆4830億円に下方修正。

◆「リフォーム減税」説明動画を公開 改正ポイントを解説

・国土交通省はリフォーム減税制度について説明するYouTube動画を公開。動画では、リフォーム減税制度の種類、リフォーム減税制度の概要、減税制度活用の流れについて説明。①住宅ローン減税、②リフォーム促進税制(同)、③リフォーム促進税制(同)、④マンション長寿命化促進税制、⑤贈与税の非課税措置、⑥買取再販住宅の税制特例—を紹介。

◆熱中症特別アラート開始 ノジマやビック、はや猛暑商戦

・熱中症へのより強い警戒を促す「熱中症特別警戒アラート」の運用が24日、始まる。今年は夏日が続く「暑い春」で、猛暑商戦が早くも熱を帯びている。家電量販大手ノジマでは4月に入り扇風機の販売が前年比2割増の勢いで伸び、日焼け止めやスポーツ飲料も好調。企業は気候変動に伴う在庫管理の難しさはあるが需要の取り込みに余念ない。

《 注目商品 》

■LIXIL、ACアダプタ仕様のリフォームシャッター

・電気工事が要らない電動シャッター「リフォームシャッター・取替シャッター ACアダプタ仕様」を5月1日に発売。電気工事士の手配が要らない。リフォームシャッターと取替シャッターの標準タイプ、耐風タイプに「ACアダプタ仕様」を追加。室内コンセントに差し込むだけで設置が可能。



■フクビ化学工業、木目エンボスによる高意匠デッキ

・再生人工木「プラスッド」を使用し、木目エンボスを施した高意匠性のデッキ材。天然木のような板目模様をエンボス加工しており、色差と陰影で木目柄が際立つようになっている。素材の耐久性による再生木デッキの普及で、2017年に「ソライエデッキ」を発売。



■東芝ライフスタイル、2wayコード付き衣類スチーマー

・立ち上がり時間をシリーズ史上最速の約17秒まで短縮した2wayコード付き衣類スチーマー「La・Coo S(ラクーエス)TAS-V70」を6月上旬より発売。スチーム使用可能範囲が360度に拡大。ハンガーにかけた衣類をケアする際、向きを気にすることがない。

